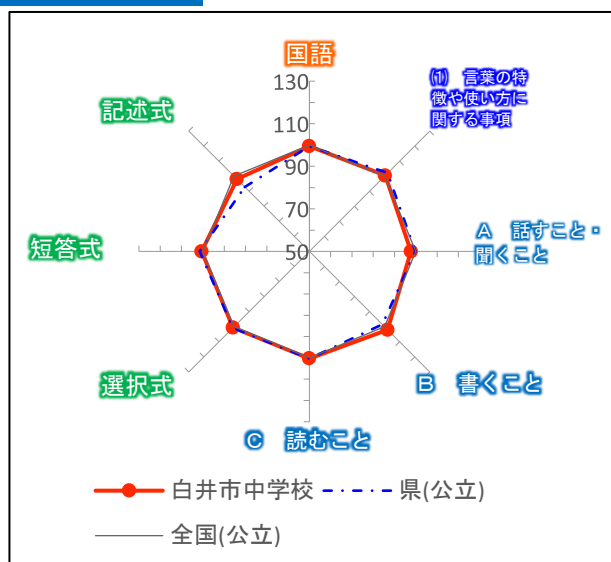


<中学校国語>



国語
全体の正答率は、全国の正答率とほぼ同等である。

言葉の特徴や使い方に関する事項

- ◇事象や行為を表す語彙について理解している。
- ◆文脈に即して漢字を正しく使うことに課題がある。

話すこと・聞くこと

- ◇自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができる。
- ◆資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することに課題がある。

書くこと

- ◇目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。
- ◆読み手の立場に立って、語句の文法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がある。

読むこと

- ◇文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。
- ◇文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができる。



授業改善のポイント

- ◇→概ね身についている。
- ◆→課題がある。

●1人1台端末等を活用して文字を入力する活動を行う場合には、漢字がもつ意味に注意して、適切に選択することができるよう指導する。

●自分の考えが分かりやすく伝わるようにするために、話の要点や根拠が明らかになっているか、説明が不足していないか、中心となる事柄が強調されているかなど、伝える前に検討する場面を設定する。

●行事後に書いた作文等、これまでに書いた文章を時間をおいて読み返し、読み手の立場に立って考える時間を確保する。その際、書いた文章を音読するなどして、叙述の仕方を整えることなども効果的である。